

# 別紙1. NTT Comの「働き方改革」におけるBYOD利用

## 1. NTT Comの「働き方改革」の目的

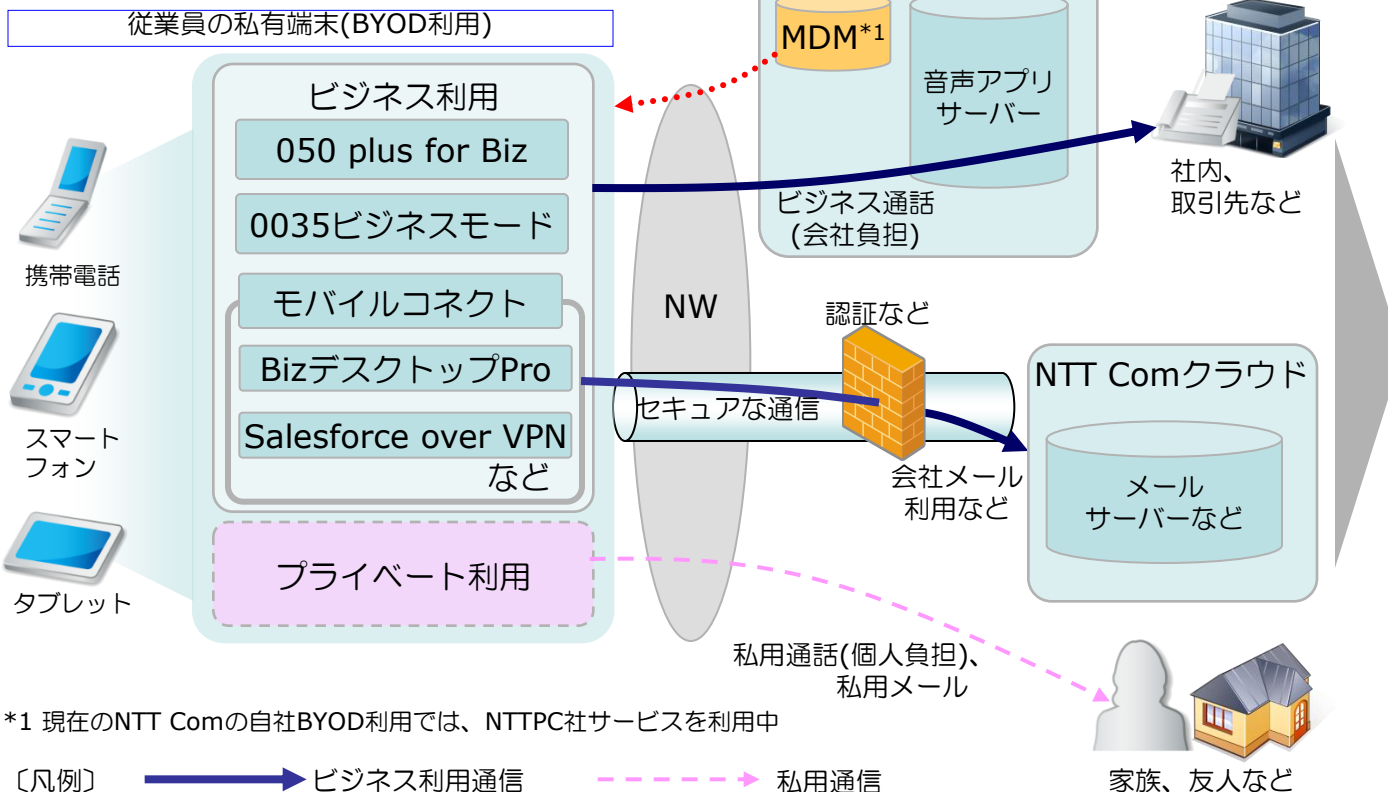
- ・人財である従業員それぞれのワークライフ・バランスを確立するために、多様な働き方改革を推進し、一人ひとりが健康で生き生きと能力を発揮できる企業風土の醸成と環境整備を実現
- ・ICTカンパニーとして、先進的なノウハウを駆使することで働き方改革を推進し、会社と従業員、従業員同士、会社と社会をつなぎ、社会に貢献

※本取り組みは、東京都の「働き方の改革『東京モデル事業』」(仕事と生活の調和の実現に向けた企業の先駆的な取り組みを支援する助成金事業 URL <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/model/>) に選定され、取り組み実施中

## 2. 「働き方改革」の一環としてBYOD利用を実施

- ・2011年9月からBYOD利用を開始し、私有端末約3600台を対象として運用中(2012年3月には会社支給の携帯端末を原則廃止)
  - ・私有スマートフォン/私有携帯電話の双方で公私分計を導入(050 plus for Biz/0035ビジネスモード利用)
  - ・私有PC/私有スマートフォンからの社内システム利用を導入(BizデスクトップPro/モバイルコネクト利用)
  - ・システムのBYOD対応だけでなく、従業員向けBYOD関連規程の制定なども実施し、BYOD導入に対応した情報セキュリティ運用も実施

### <BYOD利用イメージ>



### <BYODによる効果>

- (1)コスト改革**
  - ・通信コスト1億円超削減(年間)
- (2)「働き方改革」の推進**
  - ・オフィスに戻らずに効果的に業務が可能な環境の実現により残業時間削減などを実現
- (3)BYOD導入における不安解消**
  - ・端末に情報が残らない仕組み(BizデスクトップPro/モバイルコネクト)やMDM(遠隔ワイプ\*2など)で紛失/盗難時のセキュリティを確保し、会社/従業員双方の不安解消

\*2 遠隔ワイプ:遠隔で端末を制御して、端末内の情報を消去する仕組み

\*1 現在のNTT Comの自社BYOD利用では、NTTPC社サービスを利用中